

## ほらぶら 月間情報

2022  
6月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ほらぶら 休業日

日	曜日	催し物
1	水	
2	木	
3	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
4	土	パソコン定期相談 ▲ みきおもちゃ病院 ▲
5	日	
6	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
11	土	
12	日	きらきら書道 ▲
13	月	BANBAN しゃべろう会 ■
14	火	
15	水	育児ファミサポ講習会 ●
16	木	市民活動センター 休館日
17	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
18	土	パソコン定期相談 ▲ みきおもちゃ病院 ▲
19	日	
20	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
25	土	
26	日	
27	月	BANBAN しゃべろう会 ■
28	火	
29	水	
30	木	



### 2022年度 みきボランティア活動記章

贈呈者  
募集中!

市民が継続した善行活動に対し感謝するとともに、これからも活動を継続する励みとなるよう、三木市社会福祉協議会が記章を贈呈するものです。

贈呈条件に該当する個人（団体・グループの構成員、企業・事業所の職員も含む）に贈呈します。

《贈呈条件》3つの項目すべてにチェックが入ること。

- 行っている活動が広く一般社会の利益となる公益活動である。
- 活動歴が5年以上ある。
- 現在もその活動を継続している。

※ 推薦による応募は受け付けていません。

《贈呈する記章》活動歴に応じて3つのうちいずれか



※ 応募用紙は各公民館、交流センター、市民活動センターにあります。

《応募受付期間》5月7日④～6月11日④

《申込先》ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

### 失語症者とその家族の会 BANBANしゃべろう会

BANBANしゃべろう会は、失語症の方とその家族が情報交換を行いながら交流し、気軽に集える場です。お気軽にお越しください。

- 日 時：毎月第2・4月曜日 14:00～16:00
- 会 場：三木市立障害者総合支援センター（はばたきの丘）
- 参加費：150円
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

7月の催しのお知らせ

### 観て！みて！人形劇！

画面での映像を観ることが多い子どもたちに、生の人形劇を楽しんでもらいたい！三木市内で活動する2つのグループの公演を開催します。※ 新型コロナウイルス感染予防に配慮して開催します。

- 日 時：7月17日④  
10:30～11:30（開場10:15）
- 会 場：三木市立市民活動センター大会議室
- 入場料：無料
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090



# マガジン

## ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

ボランティア・市民活動情報「マガジン」は、ボランティア活動 ホームページ  
プラザみきのホームページからでもご覧いただけます QRコード →



(発行)  
三木市社会福祉協議会  
ボランティア活動プラザみき  
〒673-0403  
三木市末広 1-6-46  
(市民活動センター内)  
TEL 0794-83-0090  
Fax 0794-82-6666  
e-Mail mvsc@miki.or.jp

# 6

Vol.295  
2022.6.1

寄付者募集!!

あなたが共感する活動に直接応援できる“寄付の仕組み”

## 共感ファンド



寄付募集期間  
2022年6月中旬  
～8月31日まで

共感ファンドは、集められた寄付金を資金とし、「誰もが安心して自分らしく暮らすことのできるまち」にしていく仕組みです。みなさまが共感できるプロジェクトを寄付先として選択できるのが特徴の一つ。誰かの活動に共感し、寄付というアクションを起こすことで、あなたも地域活動に参加しませんか？



### 『つなぐいのちプロジェクト』 ～災害復興支援ボランティアから学ぶ～

Project A



みきジュニア  
防災クラブ

目標金額  
30万円

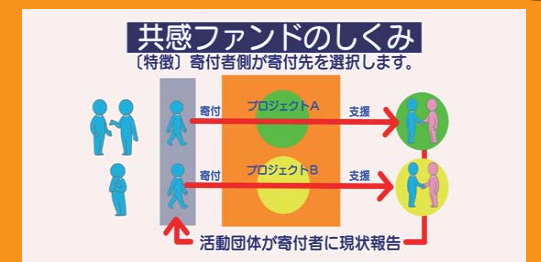
#### どんなプロジェクト？

被災地支援活動を通して感じた“災害に対しての日頃の備えや人のつながりの大切さ”を伝えるため、資料作成と研修会を開催します。

- ・子ども目線の災害復興支援の冊子作製費
- ・研修会開催経費
- ・東北地方での研修経費

### 「共感ファンド」の運営資金にご支援を！

Project B



三木市社会福祉  
協議会

目標金額  
40万円

#### どんなプロジェクト？

地域の課題を多くの方々で共有できる共感ファンドの啓発に力を入れ、寄付をしてくださる方々の利便性を向上させます。

- ・啓発パンフレット、動画の作成
- ・寄付金管理システムの運営

プロジェクト実施団体やプロジェクトの情報、寄付の方法などは市民活動センター、各公民館に設置のパンフレットまたは共感ファンドのホームページでもご紹介しています。

共感ファンド

検索



## 子どもから高齢者まで細川町公民館に大集合!! ～"おもしろそう"からはじまるまなびとつながりを地域のカへ～

### ◆人と人がつながり、共に学び合う"細川地域学校"

「住民同士が互いを気かけあうつながりが薄れてきている」「住民が地域活動に参加する機会が減っている」といった地域課題を背景に開校した細川地域学校。キーワードは地域づくりのための「人づくり」。興味や関心事を楽しく学び合いながら地域課題と向き合い、ともに取り組むつながりを促しながら、「こんな細川にしたい!自分も参画するぞ!」という人を育み、増やしていくことがねらいです。

### ◆2022年4月24日 スプリングスクール開催

細川に在住・在勤の人、細川が故郷の人など約75人が参加し、子どもから高齢者まで幅広い世代が細川町公民館に集まり、賑わった時間となりました。「親子ふれあいヨガ」「スマホ講座」「山田錦の麹で町おこしをしよう」「染物教室」「お絵描きしたい子ども達、集まれ」の5つの講座に分かれ、それぞれ学びを深めました。多世代が参加でき、日常の暮らしが豊かになる講座内容で、和気あいあいと笑い声が絶えず、明るい雰囲気の中で学び合いました。なかには細川の住民が先生役を務め、ちょっと昔の細川での暮らしを語ってくださるものもあり、普段生活している細川地区を身近に感じたり、新たな魅力を発見する機会になりました。講座の終盤には「おわりの会」と称したふり返りの時間があり、参加した感想や「今日の学びを地域のためにどう活かすか?」を話し合いました。「お絵描きで細川の Mascot キャラクターを考えたい」、「麹料理や染物で町おこし商品開発」、「スマホを使いこなす今どき高齢者を増やす」など様々な声があり、今後も定期的に集まって取り組みを継続することになりました。



細川地域学校は、学びや体験が「楽しかった」という一度限りの経験で終わらず地域に還元されていくこと、参加者がその担い手となっていくことを重視しています。細川地域学校運営委員会では、スプリングスクール参加者のアンケート結果をもとに、今回参加が少なかった30～40代の若い世代にも地域学校に興味を持ってもらい、地域と関わる機会を楽しんでもらえるような講座内容を検討する必要があると分析し、次回は「子育て中でも時にはそこから離れて熱中できること」やこれからの季節に楽しめる「アウトドア」なども盛り込まれるようです。

### ◆「参加者同士」から「地域づくりの仲間」へ

地域課題の問題解決に向けて地域力を発揮するためには、まずは「住民同士が出会い・つながる」ことが必要です。細川地域学校は普段出会うことのない住民が、学びの場を通して「出会い、知り合い、そして気づきあう」ことが実現する場です。5月に入り、早速スプリングスクールのつづきが開催された講座では「この前はどうも～」と参加者同士が交流する場面が見られました。できたつながりが途切れず、顔を合わせるたびに関係が深まることで、地域づくりの基盤が固まっていくのではないのでしょうか。今後の地域学校の発展が楽しみです。

### 「ほそかわ情報局」がイベントに密着!

細川地域学校第1弾の講座「タブレットでできる動画作成・動画配信」を修了した中学生5名が当日の様子や参加者へのインタビューを編集中です。できあがった動画は「YouTube(ユーチューブ)」へ投稿予定。お楽しみに♪



## 助成金情報

助成金等名称 (申請等期日・期間)	助成内容	申請書の 配布場所
令和4年度 花のあるまちづくり 活動促進事業 〔応募期間〕 5月6日～6月30日	〔目的〕「花のあるまちづくり活動」を促進し、豊かな自然と調和した花のある景観づくりを推進する 〔対象〕公共施設において花植え・緑化活動を行う団体 〔補助金額〕上限5万円 〔問合せ先〕三木市 都市整備部 都市政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所各担当課</li> <li>・市立公民館</li> <li>・市民活動センター</li> <li>・市ホームページからダウンロード</li> </ul> <a href="https://www.city.miki.lg.jp">https://www.city.miki.lg.jp</a>
令和4年度 子育て支援団体 活動促進事業補助金 〔受付期間〕 5月6日～予算上限まで	〔目的〕子育てが楽しいまちづくりを推進する 〔対象〕児童及びその保護者を対象に子育て支援活動を行う団体 〔補助金額〕上限10万円 〔問合せ先〕三木市 健康福祉部 子育て支援課	
令和4年度 市民活動支援事業 (立上げ支援・協働型) 〔受付期間〕 5月2日～6月30日	〔目的〕市民の自主的な活動の育成を支援し、いきいきとしたまちづくりを実現する 〔対象〕(立上げ支援型)設立2年未満の団体(特例措置あり)(協働型)市と共催事業を行う団体 〔補助金額〕(立上げ支援型)1回目10万円、2回目～5万円(協働型)支援対象経費総額の半額 〔問合せ先〕三木市 市民生活部 市民協働課	

自然環境  
団体さんは  
要チェック

子育て支援  
団体さんは  
必見!

新設の  
団体さんは  
ぜひ!

コロナ化の影響を考慮して市民活動支援事業「立上げ支援」では今年度に限り、「特例措置」が設けられています。申請から助成金交付までの流れが各事業異なるため、要綱をよくご確認ください

### Vol.2

## きらっとさんにインタビュー

三木市には、周りの人を惹きつけ、きらっと輝く活動者さんがたくさんいます。そんな「きらっとさん」に活動のあれこれをお聞きます!



第2回目のきらっとさんは神戸哲雄さんです。活動を始めたのは高校時代。友人の親御さんが営む児童養護施設に泊まり込み、子どもたちと一緒に生活する中で、自分にできること、福祉のこと、ボランティアのことについて考えたのがきっかけだそうです。

送迎ボランティア「さんりんしゃ」のメンバーでもあり、個人ボランティアとしても活躍されている神戸さん。どんな思いで活動しているのかお聞きしました。

神戸：何事も楽しむのが基本。ただ楽しいで終わらず、活動の中のほんのわずかな部分でも、何かの役に立てればと思っています。

どんな活動も生き生きとしていらっしゃるのが印象的です。神戸さんを動かすものは何ですか?

神戸：小さな事も、多くの人が続けると大きな活動になる。誰かの助けになるには、細々とした活動でもずっと気にかけることが大事。負担なくできることを長く続けることで、その行動が意義深くなる。例えば、僕は趣味でつくった陶芸作品の売上が障がい者支援のために寄付しています。1回に千円単位の少額だけど、若い頃からずっと続けています。僕にとって活動はそれぐらい気楽なものなんです。

仕事一筋だったため、仕事をやめると何をすればいいかわからないという男性も多いと耳にします。男性活動者として思うところを教えてください。

神戸：いきなりボランティアをするのは抵抗感があると思う。でも、得意なことや身近なことの見方を変えれば、些細なことでも立派な活動になる。誘ってくれる人の存在も大事。したことがなくても怖がらず、積極的に外に出ていくことが大切かな。

活動をしたいけどなかなか難しいという方に応援の言葉をお願いします!

神戸：はじめから責任や結果を考えず、やってみたいという気持ちを大切に。少しだけ勇気を出して、一歩踏み出してみると世界が広がりますよ!

「機会を与えてもらうだけでなく自分ができることから始める」とおっしゃっていた神戸さん。常に前向きな姿勢は、とても輝いていて素敵でした。

